

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

群馬医療福祉大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学部 鈴木靖弘研究グループ

実施内容 平成25年11月16日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

「児童虐待」「オレンジリボン運動」への理解・趣旨説明を実施し、学生が児童虐待について調べ、グループディスカッション・研究発表等を通して、啓発活動実施のための準備を行った。また、児童虐待防止に関する広報・啓発資料として自作のパンフレットを作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボン運動の専用ブースを設け、来場者へカード及びリーフレット、自作のパンフレットを配布し説明を行った。また、来場者自身にオレンジリボンを作成してもらったうえ、児童虐待防止に向けて来場者からメッセージを書いてもらった。ブース以外の場では、大学敷地内をオレンジリボンの看板を持って、リーフレット、自作のパンフレットを配布して回った。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

児童虐待について調べることで学生が主体的に動き、他人事とは捉えられなくなり、身近に起こりうることとして考えるようになった。そして来場者へ呼びかけることで意識が高まった。

自作のパンフレットを作成する際、いかにしてオレンジリボン運動への理解を深めてもらうかを検討する中で、より理解が深まった。オレンジリボンのメッセージボードを作成し、そのボードに虐待防止に向けてのメッセージを来場者に書いてもらうことで来場者にもオレンジリボンへの意識を高めていただくことができた。

